

UNIT
10レッスンで使用する表現
ページを確認する

このUnitでは、教材のどこをやっているのかわからなくなってしまったときに使うフレーズを学びます。レッスンで話が脱線して、どこを進行しているのかわからなくなったときに確認できるようになりましょう。

昨日までは

今何ページか講師に確認したいけど、何とか自分で探そう...



今日からは

ページが分からなくなったらすぐに確認できる！

Phrases of the day (今日のフレーズ)

下記のフレーズを復唱して口に馴染ませましょう。

1. 何ページですか？

What page is it?

2. 今どの辺りですか？

Where are we now?

3. 次のページに行きましょう。

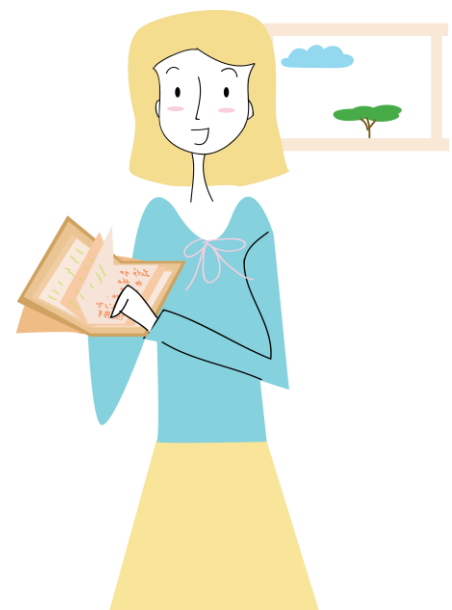
Let's go to the next page.

4. ~へ戻っていいですか？

Can we go back to~?

e.g. Can we go back to page 3?

3ページへ戻っていいですか？



□■ 関先生のワンポイントアドバイス □■

●一歩引く日本語、一歩前が出る英語

今回のフレーズ2でお分かりの通り、「今どの辺りですか？」を英語にすると、Where are we now? になります。

このWhere are we now? は、今回のように「どこまで話が進んだかわからない場合」の他に、「（会話が中断後）何の話をしていたか忘れた場合」にも使えます。

さらに、旅行中に迷ってしまい、道を聞きたいとき「ここはどこですか？」という意味でも重宝します。

ここで1つ注意点があります。「ここはどこ？」を英語にするとき、大半の日本人は、×) Where is here? のようなミスをしてしまいます。「here は副詞だから主語になれない（主語になれるのは名詞）」という説明が一般的であり、これは正しいのですが、今回はその深層心理を探ってみましょう。

日本語は「一歩引く」発想があり、「人間」ではなく「物を中心に」考えます。

一方、英語は「一歩前が出る」発想で「人間中心に」考えます。

日本語では「ここはどこ？」、英語では Where are we?

日本語では「現在地」、英語では You are here. (日本でも、駅や観光地の地図に書いてありますから今日にでもチェックしてみてください)。

このように、日本語は「物」を、英語では「人間」を中心に発想するんですね。

Fill in the blanks (穴埋め問題)

空欄を埋めながら、講師とプチロールプレイを行いましょう。スムーズに言えるまで練習しましょう。

1. A: Today, can we go back to the page I learned last time?
今日は、前回学んだページをもう一度復習したいのですが。
B: Sure. () is it?
もちろん。何ページですか？

2. A: Okay, we are finished with free talking. Let's get back to our lesson.
では、フリートークを終わりにして、レッスンに戻りましょう。
B: Okay. () we now?
わかりました。どこでしたっけ？

3. A: Do you have any questions?
なにか質問はありますか？
B: No, I don't.
いいえ、ありません。
A: All right, () the next page.
では、次のページに行きましょう。

4. A: Let's go to number five.
さあ、5番へ行きましょう。
B: Sorry, but can we () number 4? I don't understand it.
申し訳ないけど、4番へ戻ってもいいですか。それがわからなくて。

Role playing (ロールプレイング)

シーンをイメージして、空欄を埋めながら講師とロールプレイを行いましょう。

【1】

A : Have you opened the page already?

もうページを開けましたか？

B : ()?

何ページですか？

A : It's page 141.

141 ページです。

B : Okay.

わかりました。

A : All right, let's start.

では、始めましょう。

[after finishing the activity – アクティビティが終わった後に]

A : Okay, ().

では、次のページに行きましょう。

B : Um, () number three? I'd like to try it again.

えー、3番に戻ってもいいですか？もう一度試したいです。

A : Of course. Let's do it.

もちろん。やりましょう。

【2】

A : Ok, let's finish our free talking and go back to our lesson.

では、フリートーキングは終わりにして、レッスンへ戻りましょうか。

B : Okay. Um, ()?

わかりました。んーと、今どこでしたっけ？

A : I think we are on number 11. Shall we continue from here?

今11番だと思います。11番から続けましょうか？

B : Okay.

わかりました。

In your own words (フレーズ英作文)

下記フレーズを使って、講師の質問に答えましょう。

Can we go back to~? →

Say it in English (英作文)

日本語を英文にして、スムーズに言えるまで練習しましょう。

1. 何ページですか？

→ ■■■■■■■■■■?

2. 今どの辺りですか？

→ ■■■■■■■■■■?

3. 次のページに行きましょう。

→ ■■■■■■■■■■.

4. 3ページへ戻っていいですか？

→ ■■■■■■■■■■?